微分積分学第一(LAS.M101-06)

山田光太郎

kotaro@math.titech.ac.jp

http://www.official.kotaroy.com/class/2024/calc-1/

東京工業大学

2024/07/11

中間試験(期末試験)予告

以下の要領で中間試験を実施します

日時: 2024年7月18日(木曜日)10時50分-12時20分

(10時45分までには指定の座席に着席してください)

場所: WL1-401 講義室(この科目の講義・演習の会場)

試験範囲: 主として 7月 16 日までの講義で扱った内容.

欠席: 中間試験受験は単位を得るための必要条件.

欠席の場合は事前に担当者まで連絡.

持ち込み: 持込用紙 (A4版) (T2SCHOLA にあり) 1 枚のみ持

ち込み可.この用紙は試験後回収する.

返却: 答案は7月23日(火曜日)の講義までに返却する.

その際,期末試験用の持込用紙を配布する.

計算用紙: 計算用紙は配布しない.

記号等: 原則として講義や問題で用いたもの.

それ以外のものを使うときは、その旨明記すること.

微分積分学第一 2024/07/11 2 /

成績評価の方法

- ▶ 期末試験(8月1日)の得点(80点満点)と演習の得点(20点満点)の和を評価の基本点とする.
- ► 合格者平均点を 80 点とするために,提出課題および中間試験の評価を用いて調整を行うことがある.課題の得点と中間試験の得点は同一ウェイトとする.
- ▶ 成績評価は、提出課題・中間試験答案・期末試験答案に記述 されたもののみを材料とする.

中間試験の目的:

- ▶ 期末試験の予行演習.
- ▶ 受講者の動向調査.
- ▶ 期末試験で「失敗」した人への救済処置.

微分積分学第一 2024/07/11 3 /

1変数関数の積分について おえ、 としらべてくにて、 該差倫

 $\begin{array}{c} \bullet \text{ crrow functions} \\ \operatorname{erf}(x) := \frac{1}{\sqrt{\pi}} \int_{-x}^{x} e^{-t^2} \, dt = \frac{2}{\sqrt{\pi}} \int_{0}^{x} e^{-t^2} \, dt \end{array} \begin{array}{c} \bullet \text{ fils if} \\ \bullet \text{ fils if } \end{array}$

加工の輸合は初き関数でいるか





利用明 Liovilleの SS果 を使う

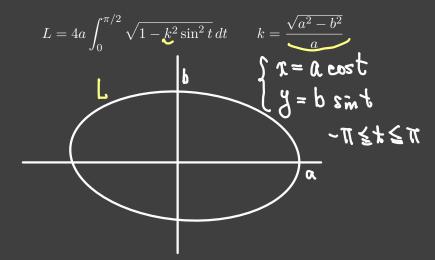
Deutsche Bundesbank, Frankfurt am Main, Germany

的对 最终回.

微分積分学第一

1変数関数の積分について

楕円
$$\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$$
 $(a > b > 0)$ の弧長を L とすると



$$T = a \cos t, \quad y = b \sin t \quad (-\pi \le t \le \pi)$$

$$L = \int_{-\pi}^{\pi} \dot{x}^2 + \dot{y}^2 dt \qquad Histings$$

$$= \int_{-\pi}^{\pi} \sqrt{a^2 \sin^2 t + b^2 \cos^2 t} dt$$

$$= \int_{0}^{\pi} \int_{0}^{2} -(0^{2}-b^{2})\cos^{2}t dt$$

$$= 2a \int_{0}^{\pi} \int_{0}^{2} -(0^{2}-b^{2})\cos^{2}t dt$$

$$= 2\alpha \int_{0}^{\pi} \sqrt{1 - k^{2} \cos t} dt \qquad t = \frac{\pi}{2} - u$$

$$= 2\alpha \int_{0}^{\pi} \sqrt{1 - k^{2} \cos t} dt \qquad (-du)$$

まかずごくみ ていらき 1- k2 < 2 t = 1- 2 k2 2 5 t. $\sqrt{1-x} \rightleftharpoons 1-\frac{x}{2} |x|:\overline{z} < 1.$ (:) VI-91 = 1-4 y 1-:43 1-x = 1-2y+y2 = 1-24 y= 10

1変数関数の積分について $\int_0^x \operatorname{sech} u \, du \quad \mathbf{z}$ cost u - sinh u = (sint u) = cosh u e V = smhu dv = coshudu = Tam sinha

2024/07/11

$$= \int_{0}^{x} \frac{2e^{u}}{1+e^{2u}} du$$

coshu =

$$= 2\left[Tan' v \right]^{2}$$

$$= 2\left[Tan' e^{x} - T_{4} \right] = Tan' substitutes the substitute of the substitut$$